

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の生息・生育環境の保全・創出
配慮事項	多様な緑地などの保全・創出		
配慮事例	生育環境への適合性や周辺植生との調和への配慮		

● 堤体及び堤外地公園などの植樹の樹種、植樹間隔などの配慮

【解説】

河道内に成立した河畔林とともに、堤体の並木や堤外地公園などでの植栽樹も河川内及び周辺環境との空間的な連続性を高めることに寄与します。

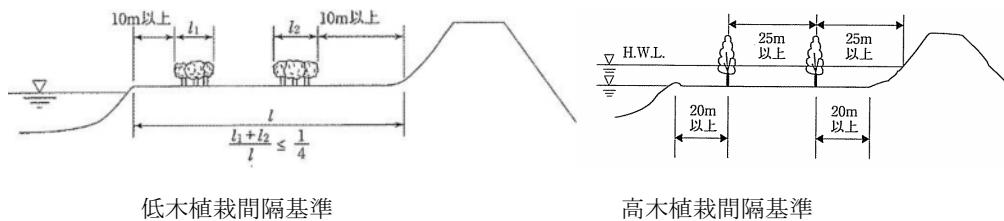
【具体的な工法・配慮事項】

- ① 河川区域付近に植樹する際は治水上の観点から、様々な制限事項があります。
- ② 植栽には河川周辺に適した郷土種（地域系統種）を用います。

植樹位置及び留意事項・植樹間隔

植樹位置	区分	主な留意事項
堤防	裏小段、第1-3種側帯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹木の主根が成木時でも計画堤防内に入らない ・ 堤防保全上問題のない区画に限る ・ 第1種側帯では高木植栽不可
高水敷	死水域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植栽間隔基準、許容植栽密度基準を満たす

内容



出典：1

【事例】



出典:3

【場所】

兵庫県 武庫川

【環境配慮の内容と方法、工法】

- ・ 豊かな自然に恵まれ、貴重な動植物も多数確認されている。
- ・ 周囲の環境に配慮した植生護岸工を採用した。
- ・ コリヤナギを1㎡当たり16本挿し木した。
- ・ 成長後は枝が張り密生するため良好な景観が形成されている。

留意点

参考資料

- 1 「河川における樹木管理の手引き」 リバーフロント整備センター
- 2 「多自然型川づくりポイントブック 河川改修時の課題と留意点」 リバーフロント整備センター
- 3 「ひょうご・人と自然の川づくり事例集 2004 生態系に配慮したひょうごの川」 兵庫県県土整備部土木局河川計画課